



第1183号  
2010年10月31日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 英 久子

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇11月の代祷・信施奉献先  
▽笹島キリスト教連絡会のため  
▽滝乃川学園のため▽障害者週間のため(7日〜13日)▽人権活動を支える主日(11月最終主日11・28)  
▽扉開けし者へボンが見た  
明治く 聖オルバン教会主催。  
日本の医学、語学、信仰に多大な業績を残したヘボンと周囲の人々のヒューマンドラマ。9日(火)19時、聖アンデレ教会聖堂で。入場無料。照会TEL03(3431)8534・主催教会。  
▽立教女学院チャペルコンサート 13日(土)14時、同院聖マーガレット礼拝堂。小・中・高・短大の各聖歌隊、中・高各ハンドベルクワイヤーの演奏。  
無料。主催&照会TEL03(537

今週・来週の予定

10月31日~11月13日

- 31(日) 聖霊降臨後第23主日
- 11月
- 1(月) 教区墓地礼拝
- 2(火) 教区墓地礼拝
- 3(水・休) 第113(臨時) 教区会
- 4(木) 信仰と生活委員会・冊子編集
- 7(日) 聖霊降臨後第24主日
- 8(月) 分担金制度特別委員会
- 9(火) 銀座朝祷会 常置委員会
- 10(水) 聖職養成委員会 人権委員会 (聖バルナバ)
- 11(木) エルサレム教区協働委員会 信仰と生活:こども聖歌
- 12(金) 広報委員会

0) 3038・同院キリスト教センター(月・火・木・金)。  
▽11月聖路加国際病院礼拝堂 《夕の祈り》3日(水)18時半、オルガン演奏に引き続き19時から。演奏者||佐藤礼子。入場無料(会場献金)。  
▽11月ランチタイム・オルガンコンサート\*聖パウロ||12日(金)、佐藤礼子 \*聖テモテ||15時)  
16日(火)、湯口依子 \*神田キリスト||17日(水)、長谷川美保 各々12時20分から30分程度、入場無料。  
◇秋のバザー(5)  
▽11月7日||清瀬聖母(11時半〜14時) ▽13日||茨十字(11時〜14時半・葛飾学園バザーに 出店) ▽14日||聖愛(12時半〜15時)

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

「絶対儲かるから大丈夫!」詐欺師の常套句である。改めて「絶対」というものを考えてみた。皆分かっているけど今のところ自分は違うと思っ

ないか。よく生きるとは、神から頂いた宿題を肅々とこなす、これに尽きるのではないか。イチローですら、全打席の6割以上はヒット無しである。人間が完璧でない事を神はご存じであるから、その中で、はたを楽にすることはいかに働くか。他者への笑顔・挨拶ひとつでもいいと思う。

振り返ってみると、私自身40歳を過ぎてから人生の後半を意識し始めたことを自覚する。まず、朝目が覚めると今日も生きていたと思う。連れ合いが出かけると、物騒な世の中でもあり、今日も無事帰ってきた、とひと安心。明日、目が覚める・無事帰って

《み手のなかで》

絶対

斎藤 篤

世の夫たちは家では財務大臣の手のひらの上。我々は神の御手の中。ある人は「死だけが唯一の本当の締め切りである。生きていく限り、学ぶべきことが未だある」と。神の決める「絶対」という締め切りの時まで、どうい

「今」を重ねていけるか。  
(大森アグネス教会信徒)

よく生きることが、よく死ぬことでは

◇第113(臨時) 教区会開催  
 来る11月3日(水・休) 9時から17時、教区会議長・廣田勝一管理主教による招集、教役者議員・各教会信徒代議員の出席で、東京教区主教選出のための教区会(第2回)が開催される。開会聖餐式・議場は聖アンデレ主教座聖堂。書記には中川英樹司祭と菅原裕治司祭が当たる。

### 信仰と生活委員会報告

(10月14日)

\*聖書の分かち合い。  
 \*宣教主事、各委員会・教会グループ等の報告。  
 \*冊子『「裸足の宣教」の継続を』(仮題)作成の進捗報告と協議。降誕日の発行を目指す。  
 \*協力支援金申請の承認(外濠

G「みんなでつくるバリアフリーのクリスマス。パーティー」。  
 \*正義と平和協議会運営委員会に派遣する連絡員の選定について(継続)。  
 \*2011年活動計画の決定。  
 \*その他

▽三光教会礼拝堂感謝と記念のミサ 去る17日の聖別・献堂のミサに続き11月6日(土) 13時から、同教会ゆかりの教役者、祈りに憶えてきた方々とともに。参加歓迎。照会☎03(3781)2554・同教会。

▽東京聖十字教会「午後の映画会」 11月7日(日) 13時から『ブラザーサン・シスタームーン』を上映。無料。照会☎03(3422)1037・同教会。

### 《今、この教会では…》

清瀬聖母教会

当教会では最近、子どもが次つぎと誕生し、聖堂には乳幼児の笑い声や泣き声が響いています。日曜学校ではギターを使つての歌や祈り、紙芝居や絵本、物語の朗読、お話の語り、折り紙の会などと、担当者が工夫をこらして行っています。

素晴らしいと思うのは、日曜学校に子どもとご両親だけでなく、お年寄りや壮年の方など、様々な世代の方々が参加してくださることです。互いに教えあう、楽しいひととき。神様が御手を伸ばして私達を抱き、生徒(信徒)一人ひとりを、ゆつくりと育ててくださるよう、日々祈り願っています。(大和孝明)

### 《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

### 【クローズアップ】64 2010フェスティバル 感謝と報告

遅い準備の開始、それに加えての記録的な酷暑のなか、実行委員や各教会の連絡員の皆さんの並々ならぬご努力により、日本聖公会宣教150年目からの新たな年の一步と9月末退任された植田仁太郎教区主教の10年のお働きへの感謝を込めた礼拝とイベントを無事、9月20日(月・休日)に終えることができました。

当日の会場、立教女学院聖マリア礼拝堂で捧げた合同礼拝では、植田主教の司式と首座主教植松誠北海道教区主教を説教者に迎えて、約8百名の方々と

もに、聖餐に与りました。

また、晴天に恵まれた礼拝後の校庭では、各教会・団体による出店・出展のさまざまなお食べ物や手芸品、そして各種団体の紹介コーナーでの交わりに加え、「3分オンステージ」の楽しいイベントにも、多くの皆さまが参加してくださいました。当日の献金額は、63万545円で、「アハリー・アラブ病院(エルサレム教区)」と「社会福祉法人ひかりの子」の保育活動支援のために献げられました。

また、献米は97kg、そしてカード類(お米券8kg、諸カード1万5千4百円)の力強いご協力をいただき、渋谷、浅草での給食活動に献げることができました。

皆さまのご理解とご協力を感じたいします。

植松誠主教が説教の中で、ご自身の牧会経験のいくつかを紹介されて、「：順境の時も、逆境の時も、日々の小さな信仰の営みを忠実に続けていく、そのことを大切に…」という言葉が、今回のフェスティバルに掲げられた、心と意思を一つにして祈り、感謝し、交わりを深めるために「集まれ!」と、呼びかけた思いへの励ましのように響きます。

新たな「こぎ出せ、沖へ」の宣教の歩みをもにしていって、次の宣教の歩みを進めていきたいと思えます。

実行委員長

司祭 田光信幸